

富士山のフィールドマナーについて説明を受ける参加者のみなさん



（令和5年7月29日実施）

# 富士山エコレンジャーとともに学ぶ！「1日子どもエコレンジャー体験会」レポート

富士山エコレンジャーは、ふじさんネットワーク正会員団体に所属している有志からなるボランティア活動団体で、国内外から多数訪れる富士山の登山者のみなさんに、ごみを捨てない、整備した歩道を外れて歩くことによる貴重な植生の踏み荒らしをしない等の登山マナーの遵守を啓発しています。また、富士山エコレンジャーの活動を補佐する立場で、富士山エコサポーターも同じ志を持って活動しています。今回は富士山の貴重な自然環境を目で、鼻で、耳で、そして触ってみて体験する「1日子どもエコレンジャー体験会」の様子をリポートいたします。

## 登山者に知っていただきたい3つの心得

まず、本日の体験会を開催するにあたって主催者の富士山エコレンジャーから留意事項（安全に。無理をしない。こまめに休憩をする際には水分補給をするように）の伝達がありました。実施当日は雲もありましたが、西臼塚公園でも気温は約30℃近くになっていて熱中症対策は欠かせませんでした。そして山に入るにあたっての3つの心得について説明がありました。

**1 歩道を外れない**
（ロープなどで制限をしている中を歩き、道を外れないこと）

**2 動植物等生きものを採集しない、持ち帰らない**
（これからも美しい富士山を守る為に自然環境の保全と野生動植物の保護をする）

**3 各自のゴミは必ず持ち帰る**

それぞれ山に入る際の基本的なマナーとのことでしたが、大切なのは「なぜ、そうなのか？」を考えながら基本的マナーを理解することでした。また自然観察では「見たり、聞いたり、触ったり、味わったり、人間の五感で感じること」が重要との説明もあり、参加者のみなさんも静かに耳を傾けていました。

その後、参加者のみなさんから簡単な自己紹介をしてもらい、さっそく活動体験に入っていきます。

## 午前中は西臼塚公園での活動体験

西臼塚駐車場から遊歩道に入ってまずは簡単なゲームをしました。

「自然界に存在しないものを探そう」と山道の脇に隠れている「人工的なもの」を参加者のみなさんで探して主催者に報告するゲームです。急に自然の中に入るとなかなか目が慣れず、どこも同じような景色に見えます。しかし時間が経つにつれて「ん？」あそこに何かある…と、ふと気づくことがあるのです。参加者のみなさんは静かになって周囲を見渡し、必死に自然界に無いもの（小さな動物や植物のオブジェ）を探しました。「目を凝らして見ていると、見えていなかったものが見えてくる。」観察



自然観察での観察眼は重要なこと



を通して自然を見る目を養うことは自然観察では大変重要なことだとわかりました。

しばらく山道を登り、途中休憩を挟みながら所々で植物や木の観察をしてからカエデ広場まで登っていきました。富士山はフィリピン海プレート、ユーラシアプレート、北米プレートの3つが合わさってできています。1万年程前の噴火によって非常に綺麗な成層火山の形になっていると富士山エコレンジャーからの説明がありました。諸説ありますが、富士山には、側火山が70ヶ所以上存在するそうです。日本の火山の中では多いとのことでしたが、そうした富士山の火山の特性に関しても知識を得ることができ、参加者のみなさんは頷きながら聞き入っていました。


カエデ広場で全員で記念撮影

西臼塚公園での活動体験終了後、富士山エコレンジャーと参加者のみなさんでまなびの森へ移動しました。


富士山エコレンジャーからの説明を聞いている参加者のみなさん

## 午後は富士山まなびの森へ移動し一日体験が続く

昼食を食べた後、早速まなびの森へ入ります。まずは靴底を種子落としマットで払ってから森に入ります。靴底等に外来物の種子がついたまま森に入り落としてしまうと、生態系に影響を与えてしまうことがあるからです。そうしたことも富士山の生態系を守っていく大切な行動といえます。




まなびの森では、天然林と人工林の違いや、倒木や落葉等が分解されて土壌が作られているという説明がありました。

特に印象に残ったのは、1cmの土壌ができるのには100年かかるということ。その場所で様々な微生物や動植物が生き、それらが土に還ると植物の養分になり、更に物質循環が繰り返されます。これが長く続くことで土壌が深くなっていきます。

土壌に空隙が多いと保水力が高くなり、雨が降った時に水が浸透しやすくなります。植物が生育することで土砂移動が抑制されて、動植物が生きる環境が維持されてと、生物が相互に影響を及ぼしながら森林が維持されていることがわかりました。

途中、休憩を挟んで植物・樹木観察、鹿の採食圧の問題についての説明もありました。鹿が好んで食べる草とそうでない草の種類について詳しく教えてもらい、鹿の食圧の違いや被害状況等もわかりました。




最後に今回のエコレンジャー一日活動体験で学んだことを参加者のみなさんに発表をしていただきました。「いろいろな木々を見られて良かった。セミの抜け殻を沢山発見した。」「こういう体験を多くの方にして欲しい」「今日の活動体験で木のことを愛おしく感じている。今後、他の方にも話して参加を呼び掛けたい」「登山をよくしていて山歩きが好きだが、木や植物をゆっくり見る機会はなかった。自然の大切さを広める活動は大切」と、それぞれが肌で感じ取った感想を参加者のみなさんで共有しました。


倒木が土壌を造っている


自然を人間の五感で感じ取ることが大切です


最後に体験の感想を述べあう

今後も富士山エコレンジャー・エコサポーターの活動を多くの人に体験していただいて、この美しい富士山と富士山の素晴らしい自然環境を未来まで守っていく人がひとりでも多く増えていくようにしたいと感じました。